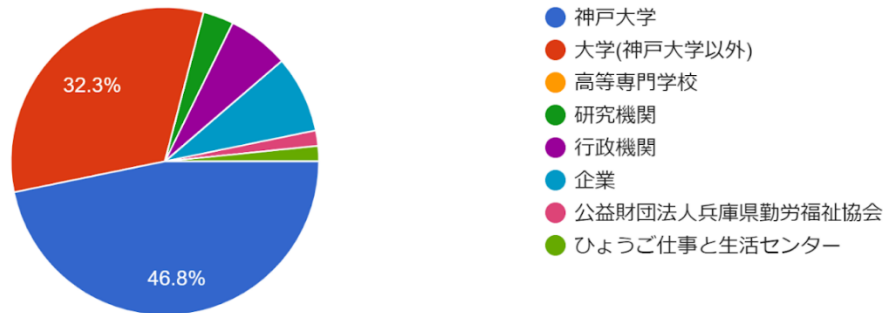


2021年度神戸大学ダイバーシティフォーラム「男性の育児休業から考えるワーク・ライフ・バランス」アンケート結果（2022/4/2 現在，回答数 63）

問1 所属

62件の回答



人数内訳 神戸大学：19→29，大学(神戸大学以外)：20，高等専門学校：0，研究機関：2，行政機関：4，企業：5，公益財団法人兵庫県勤労福祉協会：1，ひょうご仕事と生活センター：1，未回答：1

問2 職名

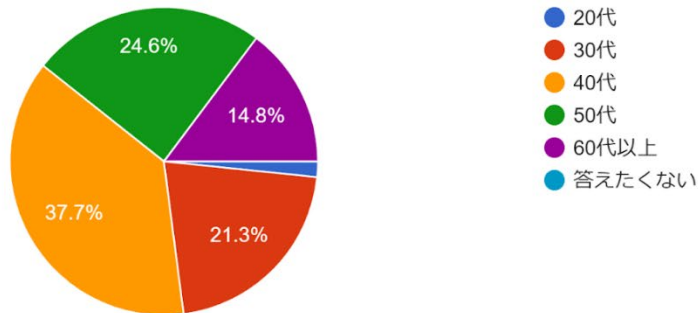
61件の回答



人数内訳 教員：14→18，職員：29→35，学生：1，社員：3，一般：3，ダイバーシティ推進センターコーディネーター：1，未回答：2

### 問3 年代

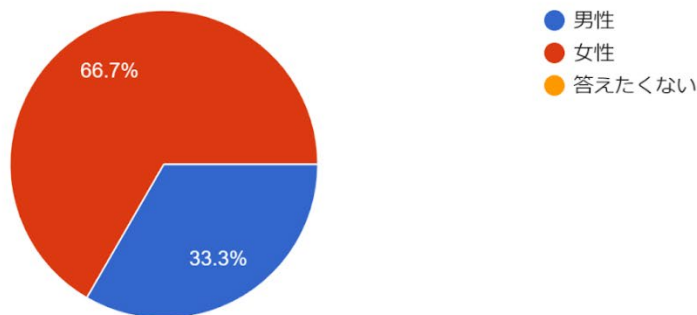
61件の回答



人数内訳 20代：1，30代：11→13，40代：18→23，50代：12→15，60代以上：9，答えたくない：0，未回答：2

### 問4 ジェンダー

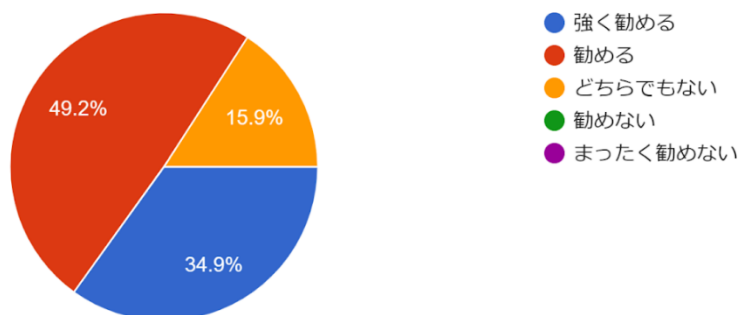
63件の回答



人数内訳 女性：36→42，男性：17→21

### 問5 あなた自身またはあなたの周囲の男性に育児休業の取得を勧めますか

63件の回答

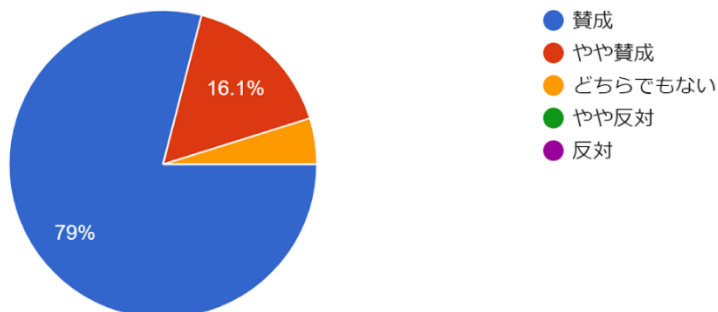


人数内訳 強く勧める：20→22，勧める：27→31，どちらでもない：6→10，勧めない：0，全く勧めない：0

問6 問5でそのように答えられた理由をお聞かせください (未)

問7 男性の育児休業取得を促進することをどう考えますか

62件の回答

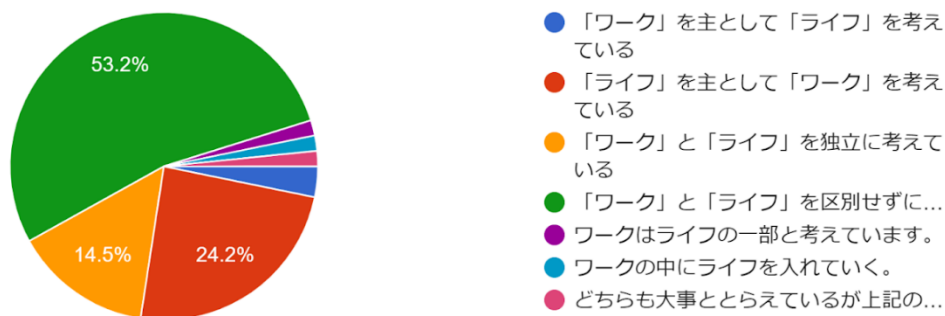


人数内訳 賛成：45→49, やや賛成：6→10, どちらでもない：1→3, やや反対：0, 反対：0, 未回答：1

問8 問7でそのように答えられた理由をお聞かせください (未)

問9 「ワーク」と「ライフ」のバランスをどのようにお考えかお聞かせください

62件の回答



人数内訳

「ワーク」を主として「ライフ」を考えている : 1→2

「ライフ」を主として「ワーク」を考えている : 12→15

「ワーク」と「ライフ」を独立に考えている : 6→9

「ワーク」と「ライフ」を区別せずに考えている : 30→33

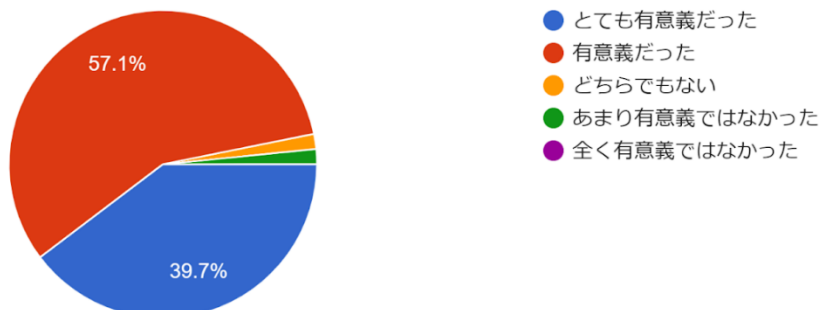
その他 : 3 (・ワークはライフの一部と考えています, ・ワークの中にライフを入れていく, ・どちらも大事ととらえているが上記の選択肢のどれともいえない)

未回答 : 1

問10 問9でそのように答えられた理由をお聞かせください（未）

問11 本日のフォーラム全般についてのご感想をお聞かせください。

63件の回答



人数内訳

とても有意義だった：22→25，有意義だった：30→36，どちらでもない：1，  
あまり有意義ではなかった：0→1，全く有意義ではなかった：0，未回答：0

問12 問11でそのように考えられた理由をお聞かせください

[1]とても有意義だった：女性 13→14名

- 1)上林先生のお話がとてもためになり、世の中全体が先生のような考えかたになってくれたらと思った
- 2)わかっているけど改めてセミナーで講師の方にお話しいただくと、ハッとすることがある
- 3)育児に前向きな男性の話を聞くことができたから。多くの男性に聞いてほしいと思った。
- 4)新しい制度の勉強にもなったし、男性の育休取得者の貴重な意見を聞いたから。
- 5)男性の育休休業から今後の働き方について色々考えることができました。
- 6)大学職員で、実際に育休休業を取得された方の声を聞くことができる機会がなかなか無いため
- 7)3名の方の経験談がとても興味深く、特に土田先生が問題だと考えておられる社会の課題に非常に共感した
- 8-1)社労士さんの講演で、育休法の改正のポイントがわかったことが有意義でした。
- 8-2)育休を実際に取得された土田先生のお話で、奥様の「何も説明しなくてもまかせられるようになった」という感想に納得でした。自分自身を振り返ると、何かやらしてもらおうと思っても説明が面倒なので、だったら自分でやってしまえ、となる場面が多かったのです。
- 8-3)本学でも男性職員で育休をとっている人はいるのですが、男性の専任教員となるとほとんど実績がありません。裁量労働制や研究との兼ね合いで、取得しようと思われる方があまりいないので、そういう方のお話も伺えるとよかったですと思いました。本日はありがとうございました。
- 9)様々な視点から男性育休、また、ワークライフバランスについて考えるきっかけを頂きました。また
- 10)育休取得者のお話は、それぞれのご経験からのご意見を頂き、気づきがありました。  
男性育休の経験者のお話が心に沁みました。一人きりで育児に立ち向かっていた時代の自分に聞かせてあげたいと思いました。
- 11)実際に育休をとられた方の体験談をお聞きできたことがとても参考になりました。

12)法改正のポイントなどを分かりやすくご説明頂きありがとうございます。また、神戸大学で実際に育児休暇を取得された男性からの視点や感想などが伺え、とても参考になりました。

13)細かい点が聞けた

14)制度の変更などをわかりやすく説明していただけたのでとても参考になりました

## **[2]とても有意義だった：男性 4→5名**

1) 色々な人の事例を聞いて良かった

2)多くの気づきを得ることができました。社内で共有させていただきます。

3)制度面の理解も進んで、根本的な考え方も理解できたため

4)理解の深まりと、新しい発見がありました。特に、男性が育児をすることが前提とされていないように感じることもある、というお話が印象に残っています。戸籍上の性別やジェンダーにかかわらず、誰もが育児をすることが期待されているし、それに対する門戸は開いているけれど、必ずしもその負担がその人にだけに行くわけではない、という状況になればと感じます。「育児や介護は誰が行うか」について、見えづらい方向づけがあるのだとすれば、一つ一つそれを見つけて、変えていくことができると感じました。

5)法改正の主旨や、社会の方向性について、具体例も交え、わかりやすい構成で学びました。

## **[3]有意義だった：女性 12→15名**

1)清水氏のお話しも大変参考になりました。また、育児休業取得者からの報告はリアル感が良かったです。もっとゆっくりお話が聞きたかったので少し残念です。

2)育児休業取得者からの報告をもっと共有できる時間があれば良かった。取得された部署の周りの反応や、男性が育休をとることにおける課題についての意見交換、その解決に向けてそれぞれの職場や部署で、今後、取り組まなくてはならないことについての助言等があれば良かった。

3)育児休業の改正について知った。パートナーが同一地域で働けるような支援の必要性を改めて感じた

4)「ワークライフバランス」を仕事と家事・育児とのバランスと捉えている考え方を初めて知りました。「ライフ」は、休養や睡眠も含むものだと思っておりませんでしたので(私の領域ではそうです)、どちらも働いてばかりで、本当にバランスが取れている状態ではないのではないかと思いました。今後の研究にも役立つような新たな価値観に触れる機会でした。

5)法改正の話はわかりやすかった。また、育休取得者のお話を聞いたのもとても良かった。3人のお話をもっと一人一人ゆっくり聞きたかった。

6)育児取得を取った教員の体験談が聞けた

7)法改正の育休の分割取得のところや、育休中に就業可能にするための労使協定などわかりやすかった

8)日本型のWLBに関する知見が深まり、育休経験者の生の声を聞くことができた

9)男性育休取得者の実際の様子が分かったのだ。

10)他大学の取り組みや実例を知れたから、育児休業を取得された男性からの体験談を聴いて、世間一般のアンコンシャスバイアスの根強さ、課題を再発見できました。

11)男性の育児休業体験談を具体的に聴くことができたのだ。

12)法律の改正点についてとてもわかりやすく、男性教職員3名の率直な思いが、育児について女性だけが悩んでいるのではなく、男性も色々と考えていることが分かったから。

13)育児休業取得者の体験談にそれぞれもう少し時間を取って欲しいと感じたから

14) 仕事で夫と妻が別の場所で暮らさねばならなくなった場合にどちらが子を帯同するかというくだり

が、自分の経験にはなかった発想でした。

15) 4月からの育休の制度を知ることができたから。

#### **[4]有意義だった：男性 8→9名**

- 1) 男性の育児休業取得者の実例が示されたことはよかった。ただし、基調講演の内容がいまひとつマッチしていなかったような気がする。
- 2) ワーク・ライフ・バランスの基本的な考え方を知ることができらから。
- 3) 男性育休の制度改正についてよく理解できた。基調講演のお話がとても分かりやすく、感銘を受けたから。
- 4) 基調講演はどちらもわかりやすく、事例報告もよかったです。全体として時間があまり長くなるのはしんどいですが、それぞれのパートをもっと踏み込んで聞きたかったです。
- 5) 上林先生の講演が大変有意義でした。今後の自己の働き方の参考にさせていただきます。しかし、本庄さんの育休期間と理由については、産褥期への理解不足等から、今後の男性育休取得の妨げ（特に期間）の一因となる恐れを感じました。
- 6) 構成がよく考えられていると思いました。
- 7) 体験者の意見が聴けた
- 8) 会議があり途中退席となりました。井澤先生のご発表以降をもっと聴講したかったからです。
- 9) 貴重なお話を多々伺うことが出来たため。

#### **問 13 本日のフォーラムに関して確認したい事項がありましたらご記入ください**

- 1) 神戸大学・教員・男性：授業を担当し、学生指導を毎年になっている教員は、どのように育休を取得しているのか、知りたかった。
- 2) 神戸大学・職員・男性：部署内で共有したいが、資料は入手できるでしょうか？
- 3) 大学(神戸大学以外)・教員・女性：神戸大学の育児休業代替制度について、別途機会があればご教示いただきたい。勤務校ではなかなか整備できずにいます。